



アスンシオン通信

シーズン2

日付: 2025年6月12日 no.29

発行者: 田邊紘起

Hola ! Como están?

田幸小のみなさん、スポーツフェスティバルおつかれさまでした。胸をはって「最後までがんばった!」といえるフェスティバルになりましたか?

全力で取り組んだ経験は、確実に自分の力になったと思いますよ。その調子で1学期後半も頑張ってください。

地球の反対側でもやっています！

先日、日本人学校の先生やその家族でチームをつくり、とあるイベントに参加しました。そのイベントは、「EKIDEN」です。これは現地でも「えきでん」と呼んでいます。チームでタスキをつなぎながら長い距離を走る競技です。田幸小のみなさんは「ポプラミニ駅伝」をやっているからよく知っていますよね。私がびっくりしたのは、「EKIDEN」という日本の呼び方をそのまま使っていることです。日本発祥の「駅伝」という競技が、地球の反対側まで普及しているってすごかったです。

ちなみにアスンシオンでは、5月にシーズンが始まると、毎週のようにどこかでマラソンや駅伝の大会が開かれています。

今回参加した駅伝大会は、競技場の敷地内に設けられたコースを走りました。会場に到着した時、まず参加者が多いことに驚きました。チームで参加するので、走者や応援する人たちの団体でとてもにぎわっていました。種目は男性部門、女性部門、男女混合部門、それに仮装部門があり、お姫様やピクサーのキャラクター、お札や三角コーンなど、仮装していろいろなものになりきっている選手もいました。



スタート地点に並ぶたくさんの第一走者=rakiura

競技会場には、駅伝参加者全員の名前が書きこまれた車が展示してあり、周りをぐるぐるしながら一生懸命自分の名前を探して、やっとの思いで見つけることができました。こんな工夫がされていると、自分も大会参加者の一員だと感じる事ができて嬉しくなります。



私の名前もちゃんとありました! =rakiura

私はアンカー（最後に走る人）でしたが、スタートから必死に走って次につないできたチームの他のメンバーの思いを受け取りながら走るの
で、最初から最後まで1人で走る時とは気持ちが全くちがいます。そして
走り切った後、チームの仲間同士で声をかけ合ったのがとても気持ちよ
かったです。最後に表彰台に立つことはできませんでしたが、みんなで
スポーツをする楽しさ、すがすがしさを改めて感じました。



ゴールを目指して走る私=rakiura

タイトル写真について

パラグアイの祝日の一つ「独立の日」前後に、パラグアイの国旗の色を使った飾りをいろいろなところで見ることができます。服にバッチをつけ

て歩いている人や、車に国旗を挟んで運転する人も見かけました。とても愛国心(自分の国を大切に思う気持ち)が強いなと思いました。

スペイン語・グアラニー語ひとこと講座

Que es esto ? (ケ エス エスト) :これは何ですか？

目の前にあるものが何か聞きたいときに使います。この言葉を使えば、パラグアイのいろいろなものの名前を知ることができます。やさしいパラグアイ人は必ず丁寧に教えてくれます。

次回について

今回は最近ふしぎに思って調べたことをまとめてお伝えします！

Chao chao!nos vemos!